

# リレーフォーライフとは

がんサバイバー(患者)、ケアギバー(家族、遺族、支援者)をたたえ、地域社会全体でがん征圧を目指すチャリティーイベントです。



3つの  
テーマ

祝う

## リレーフォーライフで できること

サバイバーやケアギバーはもちろん、どなたでも参加できます。仲間でチームを組んで夜通し、交代で歩きます。昼間はがん啓発のイベントやトークショー、歌や踊りなどの楽しいイベントが催されます。夕方にはルミナリエの火を灯し、がんと闘っている仲間や亡くなった人に祈りを捧げます。エンブティテーブルは、会場に来られなかった人のためのセレモニーです。大切な人を思い静かな時間を過ごし、夜を明かします。



# Celebrate

がんの告知を乗り越え、  
がんとともに生きてきた  
サバイバー、ケアギバーを  
たたえ、祝福します。

## 歩いて

チームを組んでたすきをつなぎます。思い思いのフラッグを手に仮装もOK!個人で好きな時間だけの参加も歓迎です。



## スタッフとして

実行委員や当日ボランティアとして、とちぎのリレーフォーライフを一緒に作りましょう。



## ルミナリエで

当日参加できない方は、ルミナリエバックにメッセージをお書きください。当日、会場に明かりを灯して飾ります。



## 寄付・協賛金で

がん制圧のために法人、個人でのご協力をお願いします。各地で募金箱も設置しています。



# それは、助け合おうという思い から始まりました。

1985年、アメリカ・ワシントン州シアトル郊外で、アメリカ人外科医が患者救済とがん征圧・予防のために始めました。「がん患者は24時間、がんと闘っている」をメッセージにトラックを24時間走り続け、寄付を募りました。共に歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したというイベントは、2018年時点で世界約30ヶ国、約6,000ヶ所で開催され、年間寄付額は470億円に上ります。日本国内では、2006年9月、茨城県つくば市で第一歩を踏み出し、2018年は全国50ヶ所で開かれ、年々開催地が増え続けています。



# Remember Fight Back

がんでなくなった愛する人を  
しのび追悼します。  
また、病の痛みや悲しみと  
向き合っている人たちを  
敬います。

しのぶ

がんの予防や検診を啓発し、  
制圧のための寄付を募り、  
がんに負けない社会を  
つくります。

立ち  
向かう

## 皆様からのご寄付 寄付の 使いみち

### プロジェクト未来

リレーフォーライフに寄せられた寄付金を基に、がん医療に関する研究を助成します。この助成金には、がん医療の充実を願うサバイバーやケアギバーの切なる思いが込められています。2012年に第1回目の助成が始まり、乳がんの新たな治療法や小児がんの子どもをサポートする研究など7件が採択されました。

### がん検診受診率向上

がんを早期発見することの重要性を伝え、がん検診の受診を啓発しています。各地でがんセミナーを開催したり、冊子やチラシを作成するなど様々な情報発信をしています。

### 若手医師育成奨学金

がん専門医の育成のため、専門の医療機関で研究する若手医師に奨学金を提供しています。大病院や国立がん研究センターなど国内機関のほか、米テキサス大学MDアンダーソンがんセンターに派遣しています。

### 悩みをサポート

がんに関する相談を無料で受けします。看護師と社会福祉士による電話相談は祝日を除く毎日実施し、医師による無料相談も行っています。リレーフォーライフの寄付金によって時間を拡充することができました。

がん相談ホットライン  
Tel.03-3562-7830(祝日を除く10:00~18:00)

皆様のご参加を心よりお待ちしております! 日本対がん協会 リレーフォーライフ・ジャパンとちぎ実行委員会